

関西支部シニア会活動報告

行事名	シニア会と学生会との交流会「シニア会と学生会との討論会～目指すべき技術者とは（技術立国の担い手として）～」
回次	第14回
開催日	2019年10月6日(日)
場所	大阪産業大学梅田サテライトキャンパス(大阪駅前第3ビル19階)
参加人数	30名
行程	<p>定刻の13時30分に開会(司会進行:シニア会運営委員 林 和宏)</p> <p>13:30 開会あいさつ シニア会会长 藤田勝久氏</p> <p>13:40 基調講演「企業から広い世界へ～企業で全うできなくとも充実した人生を送れますよ～」 シニア会副会长 古池治孝氏</p> <p>14:10 シニア会メンバーによる自己紹介を兼ねた提言 シニア会運営委員 溝口孝遠氏、谷口邁氏、谷川雅之氏</p> <p>15:10 学生からの提言 神戸大学(院) 田中悠祐氏、関西大学(院) 下町彩登氏</p> <p>16:00 グループ別討論会(討論会には上記のシニア会メンバーのほか、土井健志氏、吉本隆光氏、坪田博隆氏の3名のシニア会運営委員が参加)</p> <p>17:00 全体での総括</p> <p>17:20 閉会あいさつ 関西学生会委員長 乳原勲氏</p>
感想	<p>定刻の13内容時30分、全員がそろったところで開会。まず藤田シニア会会长のあいさつ。パワーポイントを使って、シニア会の組織や活動内容を紹介。続いて、シニア会副会长が基調講演。自身が企業、研究施設、大学と活躍の場を変えながら、それぞれの場での人との巡り合いや仕事への取組みなどを紹介され、種々の問題にもぶつかりながらも充実した時間を過ごせたこと、現在もシニア会で企業支援活動に取り組んでおり、生涯現役を目指していると言及。続いて、シニア会メンバー3氏の自己紹介を兼ねた提言に移った。まず溝口シニア会幹事が簡単な自己紹介の後、企業とは、その目的、機械技術者がぶつかる問題、身に付けるべき能力などについて説明。続いて、谷口シニア会運営委員が自己紹介を兼ねて、福島原発事故を取り上げてその問題点を紹介し、(1)物(ヅ)を知った「機械屋になれ!」、(2)Wish it, Dream it, Do it, (3)1 Position=1 Workの提言があった。</p> <p>また谷川運営委員は、所属されていた企業の事業の変遷や、その中で遭遇した事例や諸問題などを紹介。3氏の提言終了後、後のグループ別討論会に参加する、シニア会運営委員、土井、吉本、坪田3氏が紹介された。</p> <p>続いて、学生からの提言に移り、神戸大学大学院生の田中氏が自己紹介(趣味など)、自身の研究テーマ「赤外線サーモグラフィを用いた摩擦搅拌接合に対する疲労強度評価」の紹介、シニアに聞きたいこととして、(1)仕事上の大きな失敗とどのように対処したか?</p> <p>(2)昇進や転職の際にどのような経験が評価されるか?、(3)働く際のモチベーションは?</p> <p>続いて、関西大学大学院生の下町氏は、自己の略歴と研究テーマ「座位矯正を促す補助具の設計に関する研究」を紹介し、「働く」とは「他人に感謝されること」であり、「他人と協力し、」できたらいいなを実際に形にできる技術者になりたいと言及。シニアに聞きたいこととして、(1)30年程度の期間で現場で起こった環境の変化は?、(2)30年後にどんな環境の変化が起こっていると思うか?、(3)一緒に仕事をしたいと思う人はどんな人? 各発表者が熱弁をふるつたことから、予定時間が遅れたため、休憩時間を短縮し、16時10分からグループ別討論会に移る。A～Dの4グループに分け、1グループはシニアメンバー(浅野学生会担当幹事長を含む)2～3名、学生5名で構成。各テーブルにはサンドウィッチ、コーヒー、菓子を準備。約1時間、和やかな中にも活発な討論が、各グループで展開された。その後、全体での総括に移り、各グループの代表学生が、グループでの討論内容を紹介。最後に、関西学生会委員長の神戸大学大学院生の乳原氏の閉会あいさつがあり、その後、参加者全員の集合写真撮影を行って、無事、交流会を終了。</p> <p>学生諸君にとってはもちろん、シニアメンバーにとっても有意義な交流会であった。</p> <p>今回の交流会には、シニア会から9名、学生会から浅野等関西学生会担当幹事長と学生20名(当初22名の参加予定であったが、2名が都合により欠席)の、合計30名が参加した。</p>



写真1 藤田シニア会会長の開会のあいさつ



写真2 古池シニア会副会長による基調講演



写真3 シニアによる自己紹介を兼ねた提言



写真4 学生からの提言



写真5 グループ別討論会



写真6 参加者全員の集合写真